



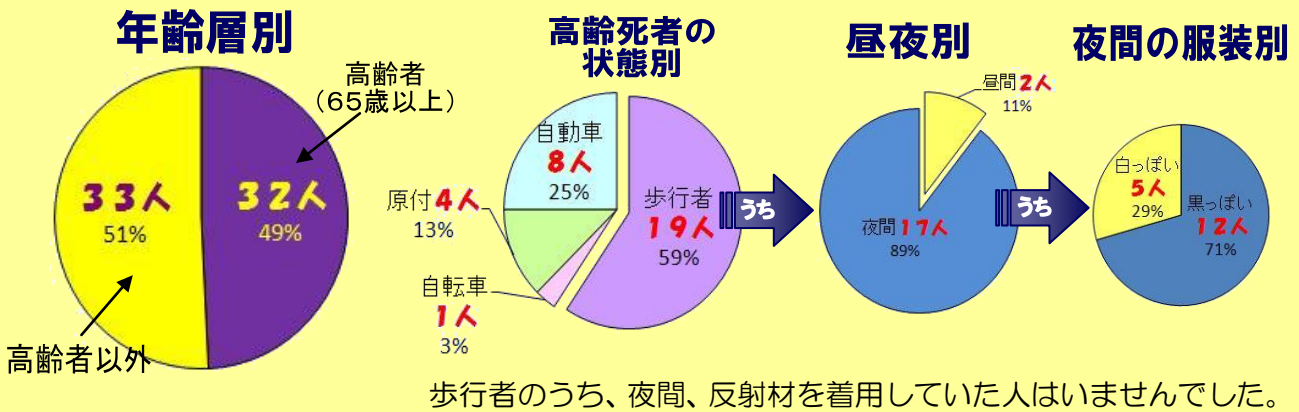
夜間に潜む危険に注意!

～ご存じですか? 夜間の交通事故の実態～

平成25年11月4日(月)午後11時20分ころ、山口市内の国道9号の交差点で、直進中の軽四乗用車(43歳女性運転)と道路横断中の歩行者(73歳女性)が衝突し、歩行者が亡くなる交通事故が発生しました。

過去3年間の10月から12月期の県内の交通死亡事故の実態をみると、夜間に高齢歩行者が車にはねられる事故が多く発生しています。夜間に外出する際は、ドライバーの方は車の前照灯の「ハイビーム」と「ロービーム」のこまめな切り替えにより道路上の危険の早期発見に努め、歩行者の方は反射材を有効に活用し、自分の存在をドライバーにアピールしましょう。

過去3年間(10月～12月)の県内の交通死亡事故の実態



夜間の交通事故を防ぐために

◆車のライトはハイビームが原則!

ハイビームはロービームよりも広範囲を照らすことができるため、危険を早く発見できます。 ※前車や対向車がいる場合はロービームに切り替えましょう。

◆歩行者の方は反射材の有効活用を!

夜間、歩行者が反射材をつけていれば、ドライバーの目にとまりやすく、自分の存在をドライバーにアピールすることができます。

宇部警察署